平成27年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 健康福祉部子育て支援課

施設名	弘前市豊田児童センター・弘前市東部児童センター
施設の設置目的	児童福祉法第40条に基づく施設として、児童福祉の向上に資することを目的とする。
所在地	弘前市豊田児童センター・・・弘前市大字豊田一丁目4番地68 弘前市東部児童センター・・・弘前市大字田園一丁目8番地4
指定管理者名	社会福祉法人みのり福祉会
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

1　事業計画の実施状況

概ね計画どおり実施されている。

2　自主事業の実施状況

実績なし

3　市民サービス向上のための取組状況

放課後児童健全育成事業を実施し、利用者サービスの向上を図っている。
一輪車のほか、陶芸教室やダンス教室など多くの事業を実施している。

4　市民ニーズの把握の実施状況

利用者アンケートを実施し、施設内に意見箱を設置している。
苦情受付について掲示している。

5　施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

（豊田児童センター）
平成26年度 年間：35,463人（121人／日）→平成27年度 年間：34,093人（116人／日）
（東部児童センター）
平成26年度 年間：27,609人（ 94人／日）→平成27年度 年間：27,343人（ 93人／日）

6　指定管理業務の収支状況

概ね適正である。

7　実地調査の結果

特に問題はない。

8　成果指標の達成度

成果指標は施設利用満足度であり、目標「81％」に対し実績が「74.8％」で達成度は「92.3%」となっている。

9　評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評　価　の　説　明	今後の課題と対応
施設の運営	A	計画の実施状況、業務報告等順調に推移、児童クラブの需要拡大、利用者ニーズの把握。	職員の接遇改善、資質向上。
施設の管理	A	補修箇所の修繕等環境改善。避難訓練、遊具点検状況、施設内外の整備状況等良好。	利用者の安全管理、暑さ対策等環境造り。備品等の管理。
経理の状況	A	法人から持ち出しした運営資金の一部戻し入れ。諸帳票類の整備、保管状況良好。	諸経費削減。
団体の財務状況	B	法人設立50年、長年に亘る安定した状況、問題なし。	引き続き安定基盤の確保、維持に努める。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評　価　の　説　明	今後の課題と対応
施設の運営	B	多数の登録児童を有しており、施設の許す範囲で適切に支援している。運営面で法令等を遵守できている。	アンケートの分析により、事業内容を検討する。
施設の管理	B	利用者の安全対策、文書管理について適切である。	夏の暑さに対する意見要望があるので、市と対策について協議していく。
経理の状況	B	帳簿等の整備、経理の区分等が適正であり、経費の削減に努めている。	
団体の財務状況	B	安定的な経理基盤を有し、適切なものとなっている。	

【評価の視点】

評価区分	評　価　の　視　点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの （適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの）
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの （軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの）
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する